

本サンプル問題の無断転載を禁ずる

【日商簿記3級】 出題区分改定に対応したサンプル問題

(2018年10月)

日本商工会議所 事業部

収載内容

仕訳例Ⅰ	2
仕訳例Ⅱ	6
セット問題Ⅰ	15
第1問 (20点)	15
第2問 (10点)	16
第3問 (30点)	17
第4問 (10点)	18
第5問 (30点)	19
答案用紙	20
第1問	20
第2問	20
第3問	21
第4問	21
第5問	22
解答	23
第1問	23
第2問	23
第3問	24
第4問	24
第5問	25
セット問題Ⅱ	26
第1問 (20点)	26
第2問 (10点)	27
第3問 (30点)	28
第4問 (8点)	29
第5問 (32点)	30
答案用紙	31
第1問	31
第2問	31
第3問	32
第4問	32
第5問	33
解答	34
第1問	34
第2問	34
第3問	35
第4問	35
第5問	36

仕訳例 I

下記の各取引について仕訳しなさい。商品売買の記帳は、特に指示のない限り 3 分法によるものとする。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。また、仕訳が不要な場合は「仕訳なし」と答えること。

※本試験問題では勘定科目群を示すが、本問では省略している。

1. 株式会社明央商事は設立にあたり 1 株当たり ¥50,000 で株式を 100 株発行し、出資者より現金を受け取った。発行価額の全額を資本金とする。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
1	現金	5,000,000	資本金	5,000,000	第四. 1. ア

2. A 銀行と B 信用金庫それぞれに当座預金口座を開設し、現金 ¥200,000 を預け入れた。ただし、管理のために口座ごとに勘定を設定することとした。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
2	当座預金 A 銀行	200,000	現金	400,000	第二. 1. エ
	当座預金 B 信用金庫	200,000			

3. (1) 商品 ¥150,000 を販売し、代金のうち ¥100,000 は信販会社が発行している商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
(2) 上記(1)の商品券をすべて精算し、同額を現金で受け取った。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
3	(1) 現金	50,000	売上	150,000	第二. 4. カ
	受取商品券	100,000			
	(2) 現金	100,000	受取商品券	100,000	

4. (1) 新規に出店するためにビルの1階部分を1か月当たり¥180,000にて賃借する契約を結んだ。契約にあたり、敷金(家賃の2か月分)および不動産業者に対する仲介手数料(家賃の1か月分)を、小切手を振り出して支払った。
 (2) 上記(1)の契約にもとづき、当月分の家賃を普通預金口座から振り込んで支払った。

【解答】

		仕		訳		出題項目
		借方科目	金額	貸方科目	金額	
4	(1)	差入保証金	360,000	当座預金	540,000	第二. 4. キ
		支払手数料	180,000			
	(2)	支払家賃	180,000	普通預金	180,000	

5. (1) 6月25日、今月分の従業員に対する給料¥1,000,000について、所得税の源泉徴収分¥74,000および健康保険・厚生年金・雇用保険の社会保険料合計¥93,000を控除し、各従業員の指定する銀行口座へ当社の普通預金口座から振り込んで支給した。
 (2) 7月2日、本年度の雇用保険料¥108,000を一括して現金で納付した。そのうち従業員負担分は¥36,000(月額相当額¥3,000)であり、残額は会社負担分である。従業員負担分については、4月から6月までの3か月分は、給料から毎月月額相当額を差し引いて支給しているが、7月以降の9か月分については、いったん会社が立て替えて支払い、その後の毎月の給料から精算することとしている。
 (3) 7月25日、今月分の従業員に対する給料¥1,100,000を、所得税の源泉徴収分¥77,000および健康保険・厚生年金の社会保険料合計¥96,000、さらに会社側がいったん立て替えて支払った雇用保険の従業員負担分の月額相当額¥3,000を控除し、各従業員の指定する銀行口座へ当社の普通預金口座から振り込んで支払った。

【解答】

		仕		訳		出題項目
		借方科目	金額	貸方科目	金額	
5	(1)	給料	1,000,000	普通預金	833,000	第二. 21
				所得税預り金	74,000	
				社会保険料預り金	93,000	
	(2)	法定福利費	72,000	現金	108,000	
		社会保険料預り金	9,000			
		従業員立替金	27,000			
(3)	給料	1,100,000	普通預金	924,000		
			所得税預り金	77,000		
			社会保険料預り金	96,000		
			従業員立替金	3,000		

補足：雇用保険について、実務上は複数の方法が見られ、特に預り金勘定と立替金勘定を厳密に使い分けていないケースもみられる。しかし、試験において様々な処理方法を正答として扱うことは受験生を惑わすことになるため、上記のとおり預り金と立替金を厳密に使い分ける処理を標準の出題とする。

6. 決算にあたり、A銀行の当座預金口座が当座借越¥87,000の状態となっているので、適切な勘定に振り替える。ただし、当社は複数の金融機関を利用しており、他の銀行にも当座預金口座を開設しているため、口座ごとに勘定を設定している。なお、当社は当座借越勘定を用いていない。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
6	当座預金 A 銀行	87,000	借入金	87,000	第三. 3

補足：当座借越勘定が指定されている場合は「当座借越」と仕訳しても良い。

7. (1) 決算にあたり、商品以外の物品の現状を調査したところ、すでに費用処理されているはがき (@¥62) が 200 枚と、82 円切手が 300 枚未使用であることが判明したため、適切な勘定へ振り替える。
 (2) 翌期首にあたり、前期末に振り替えた勘定から元の勘定への再振替仕訳を行う。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
7	(1) 貯蔵品	37,000	通信費	37,000	第三. 3
	(2) 通信費	37,000	貯蔵品	37,000	

8. 出張旅費を立て替えて支払っていた従業員 E 氏が出張から帰社し、下記の領収書を提示したので、当社の普通預金口座から従業員の指定する普通預金口座へ振り込んで精算した。

No. 1884
領 収 書
X0 年 6 月 6 日
株式会社日商物産 様
¥ 20,900
但し 旅客運賃として 上記金額を正に領収いたしました。
○○旅客鉄道株式会社 (公印省略) ××駅発行 取扱者 (捺印省略)

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
8	旅費交通費	20,900	普通預金	20,900	第二. 21

9. 当社の専務取締役F氏に資金を貸し付ける目的で¥5,000,000の小切手を振り出した。ただし、その重要性を考慮して貸付金勘定ではなく、役員貸付けであることを明示する勘定を用いることとした。なお、貸付期間は6か月、利率は年利4%で利息は元金とともに受け取る条件となっているため、利息は受取時に計上する。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
9	役員貸付金	5,000,000	当座預金	5,000,000	商業簿記標準・許容勘定科目表

10. 株式会社明央商事は増資を行うことになり、1株当たり¥60,000で株式を新たに100株発行し、出資者より同社の当座預金口座に払込金が振り込まれた。発行価額の全額を資本金とする。

【解答】

	仕		訳		出題項目
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
10	当座預金	6,000,000	資本金	6,000,000	第四.1.イ

仕訳例Ⅱ

次の各証ひょうにもとづいて、株式会社国立府中商事で必要となる仕訳を示しなさい。また、商品売買取引は3分法、得意先負担の送料は売掛金に含み、(1)・(7)・(8)については消費税を税抜方式により処理すること。((1)・(7)・(8)以外は特に消費税の処理を行う必要はない。)

※証ひょうから仕訳を起こす問題は改定前の出題区分表に「証ひょう」が明示されているため現行でも出題可能であるが、学習の便宜のためにサンプル問題を示しておく。出題にあたっては、単独の仕訳の出題（主に第1問）、または複数仕訳の出題（主に第2問または第4問）を想定している。

※本試験問題では勘定科目群を示すが、本問では省略している。また、預金口座の受け払いについて、今回の解答は「普通預金」、「当座預金」勘定を使用している。銀行名等を付した勘定科目とする場合には、問題文で別途指示する。

※本来、取引によって消費税の処理を使い分けることはないが、便宜上、このサンプル問題では(1)・(7)・(8)に限定して消費税の税抜方式の処理を行うものとしている。

(1) 商品を仕入れ、品物とともに次の納品書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

納品書			
株式会社国立府中商事 御中		八王子食品株式会社	
品物	数量	単価	金額
お得カレー (50食入りケース)	20	3,500	¥ 70,000
具だくさんカレー (50食入りケース)	20	12,500	¥ 250,000
高級カレー (10食入りケース)	15	4,500	¥ 67,500
		消費税	¥ 31,000
		合計	¥ 418,500

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕 入	387,500	買 掛 金	418,500
	仮 払 消 費 税	31,000		

- (2) 事務作業に使用する物品を購入し、品物とともに次の請求書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

請求書			
株式会社国立府中商事 様		大門商会株式会社	
品物	数量	単価	金額
印刷用紙 (500 枚入)	5	600	¥ 3,000
プリンターインク・黒	2	10,000	¥20,000
ボールペン (10 本入)	5	500	¥ 2,500
送料	-	-	¥ 1,000
合計			¥26,500

X8 年 5 月 31 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。
日商銀行東京支店 普通 1234567 ダイモンショウカイ (カ)

【解答】


	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(2)	消耗品費	26,500	未払金	26,500

- (3) 事務作業に使用する物品をインターネット注文で購入し、品物とともに次の領収書を受け取った。なお、代金はすでに支払い済みであり、仮払金勘定で処理してある。

領収書			
株式会社国立府中商事 様			
品物	数量	単価	金額
dy 製デスクトップパソコン	10	330,000	¥3,300,000
配送料	-	-	¥ 10,200
セッティング作業	10	5,400	¥ 54,000
合計			¥3,364,200

上記の合計額を領収いたしました。

日本橋電器株式会社

収入印紙
 1000 円

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(3)	備品	3,364,200	仮払金	3,364,200

補足：領収書等に関連して、仮に自社が領収書等を発行した場合は収入印紙の貼り付けが必要だが、期中取引の出題にあたっては、収入印紙を使用時ではなく購入時に費用処理する方法のみを予定している。そのため、収入印紙を購入してただちに使用したなどの特殊な指示がない限り、収入印紙の使用に関する仕訳は不要である。

- (4) 事務作業に使用する物品を購入し、品物とともに次の請求書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

請求書			
株式会社国立府中商事 様		株式会社東京電器	
品物	数量	単価	金額
印刷用紙 (500 枚入)	5	600	¥ 3,000
dy 製デスクトップパソコン	1	320,000	¥320,000
合計			¥323,000
X8 年 5 月 31 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。			
日商銀行高崎支店 普通 1122334 カ) トウキョウデンキ			

【解答】

/	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(4)	消耗品費	3,000	未払金	323,000
	備品	320,000		

- (5) 商品を売り上げ、品物とともに次の納品書兼請求書の原本を発送し、代金の全額を掛代金として処理した。また、日野商店への請求額と同額の送料を現金で支払った。

納品書兼請求書 (控)			
日野商店 御中		株式会社国立府中商事	
品物	数量	単価	金額
お得カレー	20	100	¥ 2,000
具だくさんカレー	10	350	¥ 3,500
高級カレー	10	600	¥ 6,000
送料	-	-	¥ 550
合計			¥12,050
X8 年 6 月 29 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。			
日商銀行国立支店 当座 1234432 カ) クニタチフチュウシヨウジ			

【解答】

/	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(5)	売掛金	12,050	売上	11,500
			現金	550

- (6) 武蔵野商店に対する1か月分の売上（月末締め、翌月20日払い）を集計して次の請求書の原本を発送した。なお、武蔵野商店に対する売上は商品発送時ではなく1か月分をまとめて仕訳を行うこととしているため、適切に処理を行う。

請求書（控）			
武蔵野商店 御中		株式会社国立府中商事	
品物	数量	単価	金額
お得カレー	300	100	¥ 30,000
具だくさんカレー	250	350	¥ 87,500
高級カレー	100	600	¥ 60,000
合計			¥177,500

X8年6月20日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。
日商銀行国立支店 当座 1234432 カ) クニタチフチュウショウジ

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(6)	売掛金	177,500	売上	177,500

補足：(2)(4)(5)は品物の受渡しと同時にそのつど請求書のやり取りを行っているケースを想定しているが、企業間で継続的な取引がある場合には、1か月分の取引をまとめて、後日に請求書のやり取りが行われるケースが多い。また、請求書のやり取りは後日でも、仕訳は品物の受渡しにより行う場合（(1)のケース）と、仕訳も1か月分まとめて行う場合がある（管理のため補助簿・業務システムへの記録は取引のつど行われる）。そこで、この(6)では1か月分をまとめて仕訳を行うケースとして示している。1か月分まとめて仕訳を行う場合にはそのことが分かるよう問題文で明示する。

- (7) 店頭における1日分の売上の仕訳を行うにあたり、集計結果は次のとおりであった。また、合計額のうち¥3,240はクレジットカード、残りは現金による決済であった。

売上集計表			
			X8年5月8日
品物	数量	単価	金額
お得カレー	10	100	¥ 1,000
具だくさんカレー	20	350	¥ 7,000
高級カレー	5	600	¥ 3,000
消費税			¥ 880
合計			¥11,880

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(7)	現金	8,640	売上	11,000
	クレジット売掛金	3,240	仮受消費税	880

- (8) 横浜商店株式会社に商品¥1,080,000（消費税¥80,000を含む）を売り渡し、代金として以下のとおり受け取った。

Bank	小切手
	支払地 日商銀行横浜支店 ¥580,000※ 上記の金額をこの小切手と引替に 持参人へお支払いください。 振出日 X8年5月7日 <div style="text-align: right;">横浜商店株式会社</div> 振出地 神奈川県横浜市 振出人 代表取締役 横浜 太郎 印

収入 印紙 200円	約束手形	支払期日 X8年6月29日 支払地 神奈川県横浜市 支払場所 日商銀行横浜支店
印	株式会社国立府中商事 殿 ¥500,000※ 上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形を引替え にお支払いいたします 振出地 神奈川県横浜市〇〇 振出人 横浜商店株式会社 <div style="text-align: right;">代表取締役 横浜 太郎 印</div>	

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(8)	現金	580,000	売上	1,000,000
	受取手形	500,000	仮受消費税	80,000

- (9) 出張から戻った従業員から次の領収書および報告書が提出されるとともに、かねて概算払いしていた¥15,000との差額を現金で受け取った。なお、1回¥3,000以下の電車賃は従業員からの領収書の提出を不要としている。

領収書 運賃¥3,700 上記のとおり領収致しました。 大宮観光交通（株）	旅費交通費等報告書 日商太郎																								
領収書 宿泊費 シングル1名 ¥8,500 またのご利用をお待ちしております。 日商イン大宮																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">移動先</th> <th style="width: 20%;">手段等</th> <th style="width: 20%;">領収書</th> <th style="width: 40%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮駅</td> <td>電車</td> <td>無</td> <td style="text-align: right;">1,020</td> </tr> <tr> <td>大宮商店</td> <td>タクシー</td> <td>有</td> <td style="text-align: right;">3,700</td> </tr> <tr> <td>日商イン大宮</td> <td>宿泊</td> <td>有</td> <td style="text-align: right;">8,500</td> </tr> <tr> <td>帰社</td> <td>電車</td> <td>無</td> <td style="text-align: right;">1,020</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">¥14,240</td> </tr> </tbody> </table>		移動先	手段等	領収書	金額	大宮駅	電車	無	1,020	大宮商店	タクシー	有	3,700	日商イン大宮	宿泊	有	8,500	帰社	電車	無	1,020	合計			¥14,240
移動先	手段等	領収書	金額																						
大宮駅	電車	無	1,020																						
大宮商店	タクシー	有	3,700																						
日商イン大宮	宿泊	有	8,500																						
帰社	電車	無	1,020																						
合計			¥14,240																						

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(9)	旅費交通費	14,240	仮払金	15,000
	現金	760		

- (10) 事務所の賃借契約を行い、下記の振込依頼書どおりに当社普通預金口座から振り込み、賃借を開始した。仲介手数料は費用として処理すること。

振込依頼書	
株式会社国立府中商事 御中	株式会社多摩不動産
ご契約ありがとうございます。以下の金額を下記口座へお振込ください。	
内容	金額
仲介手数料	¥ 60,000
敷金	¥480,000
初月賃料	¥120,000
合計	¥660,000
日商銀行大手町支店 当座 4433221 カ) タマフドウサン	

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(10)	支払手数料	60,000	普通預金	660,000
	差入保証金	480,000		
	支払家賃	120,000		

(11) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から法人税を振り込んだ。

領 収 証 書				
科目	法人税	本 税	600,000	納期等 X80401
		〇〇〇 税		の区分 X90331
		△ △ 税		中間申告 <input checked="" type="checkbox"/> 確定申告
住 所	東京都府中市〇〇	□□税		出納印 X8.11.9 日商銀行
		××税		
氏 名	株式会社国立府中商事	合計額	¥600,000	

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(11)	仮払法人税等	600,000	普通預金	600,000

(12) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から法人税を振り込んだ。

領 収 証 書				
科目	法人税	本 税	700,000	納期等 X80401
		〇〇〇 税		の区分 X90331
		△ △ 税		中間申告 <input type="checkbox"/> 確定申告 <input checked="" type="checkbox"/>
住 所	東京都府中市〇〇	□□税		出納印 X9.5.30 日商銀行
		××税		
氏 名	株式会社国立府中商事	合計額	¥700,000	

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(12)	未払法人税等	700,000	普通預金	700,000

(13) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から消費税を振り込んだ。

領 収 証 書			
科目	消費税及び地方消費税	本 税	200,000
		〇〇〇 税	
		△ △ 税	
納期等	X80401	中間申告	確定申告
の区分	X90331		
住 所	東京都府中市〇〇	□□税	
		××税	
氏 名	株式会社国立府中商事	合計額	¥200,000
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 出納印 X9.5.30 日商銀行 </div>			

【解答】

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(13)	未 払 消 費 税	200,000	普 通 預 金	200,000

(14) 取引銀行のインターネットバンキングサービスから当座勘定照合表（入出金明細）を参照したところ、次のとおりであった。そこで、各取引日について必要な仕訳を答えなさい。なお、市ヶ谷商店および四谷商店はそれぞれ当社の商品の取引先であり、この2社との商品売買取引はすべて掛けとしている。また、小切手（No. 102）は6月19日以前に振り出したものである。

X8年7月2日				
当座勘定照合表				
株式会社国立府中商事 様			日商銀行国立支店	
取引日	摘要	お支払金額	お預り金額	取引残高
6.20	融資ご返済	500,000		省 略
6.20	融資お利息	4,000		
6.21	お振込 市ヶ谷商店	250,000		
6.21	お振込手数料	200		
6.22	お振込 四谷商店		500,000	
6.25	小切手引落 (No. 102)	400,000		
6.25	手形引落 (No. 550)	100,000		

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
6.20	借入金	500,000	当座預金	504,000
	支払利息	4,000		
6.21	買掛金	250,000	当座預金	250,200
	支払手数料	200		
6.22	当座預金	500,000	売掛金	500,000
6.25	支払手形	100,000	当座預金	100,000

- (15) 取引銀行のインターネットバンキングサービスから普通預金口座の入出金明細を参照したところ、次のとおりであった。そこで、各取引日において必要な仕訳を答えなさい。なお、株式会社市ヶ谷食品および四谷ドラッグ株式会社はそれぞれ当社の商品の取引先であり、商品売買取引はすべて掛けとしている。

入出金明細				
日付	内容	出金金額	入金金額	取引残高
7.16	ATM入金		125,000	省 略
7.17	振込 カ) イチカ` ヤシヨクヒン	300,000		
7.18	振込 ヨツヤト` ラツク` (カ		444,500	
7.20	給与振込	942,000		
7.20	振込手数料	1,000		

7月18日の入金は、当店負担の振込手数料¥500が差し引かれたものである。

7月20日の給与振込額は、所得税の源泉徴収額¥80,000を差し引いた額である。

【解答】

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
7.16	普通預金	125,000	現金	125,000
7.17	買掛金	300,000	普通預金	300,000
7.18	普通預金	444,500	売掛金	445,000
	支払手数料	500		
7.20	給料	1,022,000	普通預金	943,000
	支払手数料	1,000	所得税預り金	80,000

セット問題 I

第1問 (20点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。なお、消費税については、指示がある取引についてのみ考慮すること。

現	金	普	通	預	金	売	掛	金	前	払	金	未	収	入	金						
受	取	商	品	券	仮	払	消	費	税	備	品	買	掛	金	前	受	金				
未	払	金	借	入	金	未	払	配	当	金	仮	受	消	費	税	未	払	消	費	税	
貸	倒	引	当	金	資	本	金	利	益	準	備	金	繰	越	利	益	剰	余	金	売	上
受	取	利	息	仕	入	支	払	手	数	料	支	払	利	息	貸	倒	損	失			

1. 商品（本体価格¥300,000）を仕入れ、代金は8%の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税については、税抜方式で記帳する。
2. 得意先の青森株式会社が倒産し、同社に対する売掛金¥150,000（前期販売分）が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残高は¥120,000である。
3. 株主総会で繰越利益剰余金¥1,500,000の一部を次のとおり処分することが承認された。
株主配当金：¥200,000
利益準備金の積立て：¥20,000
4. 備品¥700,000を購入し、代金は来月末に支払うこととした。なお、引取運賃¥8,000は現金で支払った。
5. 商品¥18,000を売り上げ、代金のうち¥10,000は共通商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。

第2問（10点）

日野株式会社のX1年5月の取引（一部）は次のとおりである。それぞれの日付の取引が答案用紙に示されたどの補助簿に記入されるか答えなさい。解答にあたっては、該当するすべての補助簿の欄に○印を付すこと。

- 4日 八王子商店から商品を¥500,000で仕入れ、代金のうち半額は約束手形を振り出し、残額は掛けとした。
- 15日 先月に多摩商店から建物¥5,000,000と土地¥6,000,000を購入する契約をしていたが、本日その引渡しを受けた。この引渡しにともない、購入代金のうち¥1,100,000は契約時に仮払金勘定で処理していた手付金を充当し、残額は当座預金口座から振り込んだ。
- 18日 かねて荒川商店へ売り上げていた商品¥400,000について不良品が見つかったため返品を受け、掛代金から差し引くこととした。
- 25日 杉並商店から先月受け取った約束手形¥450,000の支払期日が到来し、同額が当社の普通預金口座へ振り込まれた。
- 31日 仕入先青葉商店に対する先月分の掛代金¥330,000について、小切手を振り出して支払った。

第3問 (30点)

次の【資料1】と【資料2】にもとづいて、答案用紙のX8年8月31日の残高試算表を作成しなさい。なお、取引銀行とは借越限度額を¥500,000とする当座借越契約を結んでいる。

【資料1】 X8年7月31日の残高試算表

借方	勘定科目	貸方
268,000	現金	
251,000	当座預金	
394,000	受取手形	
550,000	売掛金	
233,000	繰越商品	
25,000	前払金	
30,000	仮払金	
1,200,000	建物	
2,700,000	土地	
	支払手形	140,000
	買掛金	280,000
	社会保険料預り金	15,000
	借入金	3,000,000
	貸倒引当金	12,000
	建物減価償却累計額	496,000
	資本金	1,000,000
	繰越利益剰余金	220,000
	売上	4,300,000
2,330,000	仕入	
880,000	給料	
97,500	旅費交通費	
244,000	広告宣伝費	
108,000	水道光熱費	
40,000	通信費	
60,000	法定福利費	
16,000	減価償却費	
14,000	租税公課	
22,500	支払利息	
9,463,000		9,463,000

【資料2】 X8年8月中の取引

- 2日 従業員が出張から帰ったため、旅費交通費の精算をし、残額の¥8,400を現金で受け取った。なお、出張に際して、この従業員には現金¥30,000を仮払いしていた。
- 3日 商品¥125,000を仕入れ、代金のうち¥25,000は注文時に支払った手付金と相殺し、残額は掛けとした。
- 7日 社会保険料預り金¥15,000(従業員の負担額)について、会社負担額(従業員の負担額と同額とする)を加えて現金で納付した。
- 8日 商品¥350,000を売り上げ、代金は掛けとした。なお、先方負担の発送費¥3,000を現金で支払い、この金額は掛代金に含めることとした。
- 10日 かねて振り出していた約束手形¥70,000が当座預金口座から決済された。
- 13日 売掛金¥160,000が当座預金口座に振り込まれた。
- 14日 商品¥180,000を仕入れ、約束手形を振り出した。なお、当社負担の引取運賃¥2,000は現金で支払った。
- 16日 商品¥130,000を売り上げ、当社宛の約束手形を受け取った。
- 17日 買掛金¥150,000を当座預金口座から支払った。
- 20日 給料¥230,000について、従業員負担の社会保険料¥20,000を差し引いた手取額を、当座預金口座から支払った。
- 21日 電話料金¥10,000と水道光熱費¥21,000が当座預金口座から引き落とされた。
- 24日 借入金にかかる利息¥7,500が当座預金口座から引き落とされた。
- 27日 収入印紙¥3,000を購入し、現金を支払った。なお、この収入印紙はすぐに使用した。
- 28日 商品¥150,000の注文を受け、手付金として現金¥30,000を受け取った。
- 31日 建物について、当月分の減価償却費¥4,000を計上した。

第4問 (10点)

下記の【資料】にもとづいて、株式会社日商（決算年1回、3月31日）の損益勘定、資本金勘定、繰越利益剰余金勘定の（ア）から（オ）に当てはまる金額を記入しなさい。なお、当期はX1年4月1日からX2年3月31日までである。

【資料】

1. 総売上高：¥5,100,000
2. 純売上高：¥5,000,000
3. 決算整理前仕入勘定残高：借方 ¥3,600,000
4. 期首商品棚卸高：¥400,000
5. 期末商品棚卸高：¥500,000
6. 売上原価は仕入勘定で算定する。

損		益	
3/31	仕入 (ア)	3/31	売上 ()
"	給料 1,200,000	"	受取手数料 200,000
"	貸倒引当金繰入 5,000	/	
"	減価償却費 100,000		
"	水道光熱費 120,000		
"	() (イ)		
"	()		
		(ウ)	

資 本 金			
3/31	次期繰越 (エ)	4/1	前期繰越 4,000,000

繰越利益剰余金			
3/31	次期繰越 (オ)	4/1	前期繰越 30,000
"	()	3/31	()
"	()	"	()

第5問 (30点)

次の[資料1]と[資料2]にもとづいて、答案用紙の貸借対照表と損益計算書を完成しなさい。なお、会計期間はX7年4月1日からX8年3月31日までの1年間である。

[資料1] 決算整理前残高試算表

借方	勘定科目	貸方
275,000	現金	
	当座預金	226,000
571,000	普通預金	
470,000	売掛金	
46,000	仮払法人税等	
141,000	繰越商品	
900,000	建物	
400,000	備品	
940,000	土地	
	買掛金	320,000
	社会保険料預り金	13,000
	貸倒引当金	5,000
	建物減価償却累計額	180,000
	備品減価償却累計額	240,000
	資本金	1,800,000
	繰越利益剰余金	473,000
	売上	3,320,000
	受取手数料	80,000
1,900,000	仕入	
480,000	給料	
292,000	広告宣伝費	
18,000	保険料	
84,000	水道光熱費	
140,000	法定福利費	
6,657,000		6,657,000

[資料2] 決算整理事項等

- 現金の実際有高は¥264,000であった。帳簿残高との差額のうち¥10,000については水道光熱費の記入漏れであることが判明したが、残額については原因不明なので、雑損または雑益として計上する。
- 当座預金勘定の貸方残高全額を借入金勘定に振り替える。なお、取引銀行とは借越限度額を¥1,000,000とする当座借越契約を結んでいる。
- 売掛金¥70,000が普通預金口座に振り込まれていたが、この取引が未記帳であることが判明した。
- 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- 期末商品棚卸高は¥109,000である。
- 有形固定資産について、次の要領で定額法により減価償却を行う。
建物：残存価額ゼロ、耐用年数30年
備品：残存価額ゼロ、耐用年数5年
- 保険料は全額当期の11月1日に向こう1年分を支払ったものであるため、前払分を月割で計上する。
- 手数料の未収分が¥12,000ある。
- 法定福利費の未払分¥13,000を計上する。
- 法人税等が¥114,000と計算されたので、仮払法人税等との差額を未払法人税等として計上する。

答案用紙

第1問

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

第2問

補助簿 目付	当座預金 出納帳	商品有高帳	売掛金元帳	買掛金元帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳	仕入帳	売上帳	固定資産 台帳
4									
15									
18									
25									
31									

第3問

残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	当 座 預 金	
	受 取 手 形	
	売 掛 金	
	繰 越 商 品	
	建 物	
	土 地	
	支 払 手 形	
	買 掛 金	
	前 受 金	
	社会保険料預り金	
	借 入 金	
	貸 倒 引 当 金	
	建物減価償却累計額	
	資 本 金	
	繰 越 利 益 剰 余 金	
	売 上	
	仕 入	
	給 料	
	旅 費 交 通 費	
	広 告 宣 伝 費	
	水 道 光 熱 費	
	通 信 費	
	法 定 福 利 費	
	減 価 償 却 費	
	租 税 公 課	
	支 払 利 息	

第4問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

第5問

貸借対照表

X8年3月31日

(単位：円)

現金	()	買掛金	()
普通預金	()	社会保険料預り金	()
売掛金	()	借入金	()
()	△()	未払費用	()
商品	()	未払法人税等	()
前払費用	()	資本金	1,800,000
()	収益	繰越利益剰余金	()
建物	()		
減価償却累計額	△()		
備品	()		
減価償却累計額	△()		
土地	940,000		
	()		()

損益計算書

X7年4月1日からX8年3月31日まで

(単位：円)

売上原価	()	売上高	3,320,000
給料	480,000	受取手数料	()
広告宣伝費	292,000		
保険料	()		
水道光熱費	()		
法定福利費	()		
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
雑	()		
法人税等	114,000		
当期純	()		()
	()		()

解答

第1問

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	300,000	買掛金	324,000
	仮払消費税	24,000		
2	貸倒引当金	120,000	売掛金	150,000
	貸倒損失	30,000		
3	繰越利益剰余金	220,000	未払配当金	200,000
			利益準備金	20,000
4	備品	708,000	未払金	700,000
			現金	8,000
5	現金	8,000	売上	18,000
	受取商品券	10,000		

第2問

補助簿 目付	当座預金 出納帳	商品有高帳	売掛金元帳	買掛金元帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳	仕入帳	売上帳	固定資産 台帳
4		○		○		○	○		
15	○								○
18		○	○					○	
25					○				
31	○			○					

第3問

残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
268,400	現 金	
	当 座 預 金	57,500
524,000	受 取 手 形	
743,000	売 掛 金	
233,000	繰 越 商 品	
1,200,000	建 物	
2,700,000	土 地	
	支 払 手 形	250,000
	買 掛 金	230,000
	前 受 金	30,000
	社会保険料預り金	20,000
	借 入 金	3,000,000
	貸 倒 引 当 金	12,000
	建物減価償却累計額	500,000
	資 本 金	1,000,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	220,000
	売 上	4,780,000
2,637,000	仕 入	
1,110,000	給 料	
119,100	旅 費 交 通 費	
244,000	広 告 宣 伝 費	
129,000	水 道 光 熱 費	
50,000	通 信 費	
75,000	法 定 福 利 費	
20,000	減 価 償 却 費	
17,000	租 税 公 課	
30,000	支 払 利 息	
10,099,500		10,099,500

第4問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
3,500,000	275,000	5,200,000	4,000,000	305,000

第5問

貸借対照表

X8年3月31日

(単位：円)

現金	(264,000)	買掛金	(320,000)
普通預金	(641,000)	社会保険料預り金	(13,000)
売掛金 (400,000)		借入金	(226,000)
(貸倒引当金) △(8,000)	(392,000)	未払費用	(13,000)
商品	(109,000)	未払法人税等	(68,000)
前払費用	(10,500)	資本金	1,800,000
(未収)収益	(12,000)	繰越利益剰余金	(698,500)
建物 (900,000)			
減価償却累計額 △(210,000)	(690,000)		
備品 (400,000)			
減価償却累計額 △(320,000)	(80,000)		
土地	940,000		
	<u>(3,138,500)</u>		<u>(3,138,500)</u>

損益計算書

X7年4月1日からX8年3月31日まで

(単位：円)

売上原価	(1,932,000)	売上高	3,320,000
給料	480,000	受取手数料	(92,000)
広告宣伝費	292,000		
保険料	(7,500)		
水道光熱費	(94,000)		
法定福利費	(153,000)		
貸倒引当金繰入	(3,000)		
減価償却費	(110,000)		
雑(損)	(1,000)		
法人税等	114,000		
当期純(利益)	(225,500)		
	<u>(3,412,000)</u>		<u>(3,412,000)</u>

セット問題Ⅱ

第1問(20点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	現金過不足	普通預金	売掛金	クレジット売掛金
立替金	前払金	未収入金	差入保証金	仮払法人税等
土地	買掛金	未払金	所得税預り金	未払法人税等
資本金	売上	受取手数料	雑益	支払手数料
旅費交通費	通信費	租税公課	支払家賃	雑損

1. 新店舗を賃借し、1か月分の家賃¥200,000、敷金¥400,000を普通預金口座から振り込んだ。
2. 従業員が出張から戻り、旅費の領収書¥18,500を受け取った。そこで、同額をこの従業員へ後日支払うこととし、未払金として計上した。
3. 商品¥300,000をクレジット払いの条件で販売するとともに、信販会社へのクレジット手数料(販売代金の5%)を計上した。
4. 決算日において、借方に計上していた現金過不足 ¥18,000の原因を改めて調査した結果、通信費¥22,000、受取手数料¥5,000の記入漏れが判明した。残りの金額は原因が不明であったので、適切に処理を行った。
5. 中間申告を行い、法人税¥700,000、住民税¥200,000および事業税¥350,000を現金で納付した。

第2問 (10点)

次の [資料] にもとづいて、(ア) から (エ) に入る適切な金額を、(A) には適切な用語を答案用紙に記入しなさい。定額法にもとづき減価償却が行われており、減価償却費は月割計算によって計上する。なお、当社の決算日は毎年3月31日である。

[資料] 固 定 資 産 台 帳 X5年3月31日現在

取得年月日	名称等	期末数量	耐用年数	期首(期中取得)取得原価	期首減価償却累計額	差引期首(期中取得)帳簿価額	当期減価償却費
備品							
X1年4月1日	備品A	1	8年	1,600,000	600,000	1,000,000	200,000
X3年11月1日	備品B	2	6年	810,000	56,250	753,750	135,000
X4年6月1日	備品C	3	5年	1,500,000	0	1,500,000	250,000
小計				3,910,000	656,250	3,253,750	585,000

備 品

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方
X4	4	1	前期繰越	(ア)	X5	3	31	次期繰越	()
	6	1	当座預金	(イ)					
				()					()

備品減価償却累計額

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方
X5	3	31	次期繰越	()	X4	4	1	前期繰越	(ウ)
					X5	3	31	(A)	(エ)
				()					()

第3問 (30点)

次の(1)合計試算表と(2)諸取引にもとづいて、答案用紙のX1年5月31日の合計残高試算表を作成しなさい。

(1)X1年5月26日時点の合計試算表

合計試算表		
X1年5月26日		
借方	勘定科目	貸方
3,500,000	現金	2,727,000
5,000,000	当座預金日商銀行	1,700,000
2,000,000	当座預金大門銀行	1,280,000
2,900,000	売掛金	2,420,000
1,000,000	電子記録債権	700,000
520,000	繰越商品	
800,000	備品	
1,570,000	買掛金	1,940,000
380,000	電子記録債務	633,000
13,000	所得税預り金	13,000
	借入金	2,000,000
	資本金	3,000,000
	繰越利益剰余金	500,000
20,000	売上	6,400,000
4,240,000	仕入	10,000
900,000	給料	
130,000	水道光熱費	
260,000	支払家賃	
90,000	支払利息	
23,323,000		23,323,000

(2)X1年5月27日から31日までの諸取引

- 27日 掛仕入 : 茨城商店 ¥80,000
 給料支払い : 支給総額 ¥300,000(所得税の源泉徴収額 ¥12,000)差引額を当座預金日商銀行口座から引落し。
 買掛金支払い : 群馬商店 ¥130,000。当座預金日商銀行口座から支払い。
- 28日 掛売上 : 千葉商店 ¥220,000
 電子記録債権 : 千葉商店に対する売掛金 ¥100,000 について、同店の承諾後、電子記録債権の発生。
- 29日 掛売上 : 埼玉商店 ¥150,000
 経費支払い : 水道光熱費 ¥32,000。当座預金大門銀行口座から引落し。
- 30日 電子記録債務 : 茨城商店に対する買掛金 ¥180,000 について、同店の承諾後、電子記録債務の発生。
 売掛金回収 : 埼玉商店 ¥90,000。当座預金大門銀行口座に入金。
 電子記録債権 : 回収 ¥200,000。当座預金日商銀行口座に入金。
- 31日 経費支払い : 支払利息 ¥10,000。当座預金大門銀行口座から引落し。
 電子記録債務 : 支払い ¥300,000。当座預金大門銀行口座から引落し。

第4問（8点）

大門家具株式会社と株式会社日野商事は主たる営業活動として家具の販売を行っており、それぞれ商品発送時に売上、商品受取時に仕入を計上している。そこで、以下の証ひょうにもとづき、問に答えなさい。なお、大門家具は商品を発送した際に、日野商事へ請求した額と同額の発送費を現金で支払っている。

納品書 兼 請求書				当座勘定照合表（抜粋）		
株式会社日野商事 御中				株式会社日野商事 様		
大門家具株式会社				多摩銀行日野支店		
商品	数量	単価	金額	取引日	摘要	支払金額
2人掛けソファ	5	120,000	600,000	5.31	お振込ダイモンカグ(カ)	625,000
送料	—	—	25,000	5.31	お振込手数料	200
合計			¥625,000			
振込期限：5月31日						
振込先：日商銀行東京支店						
普通 5556666 ダイモンカグ(カ)						

問 下記の取引時の仕訳をそれぞれ答えなさい。解答にあたって、勘定科目は次の中から選ぶこと。

現金 普通預金 当座預金 売掛金 買掛金 売上 受取手数料 仕入 支払手数料 発送費

- ①大門家具が商品を発送した時
- ②日野商事が商品を受け取った時
- ③大門家具が代金の振込みを受けた時
- ④日野商事が代金を振り込んだ時

第5問 (32点)

当社(会計期間はX7年4月1日からX8年3月31日までの1年間)の(1)決算整理前残高試算表および(2)決算整理事項等にもとづいて、下記の問に答えなさい。なお、出題の便宜上、解答に影響しない費用は「その他の費用」に合計額を示している。

(1) 決算整理前残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
762,800	現金	
5,847,000	普通預金	
7,570,000	売掛金	
2,687,200	仮払消費税	
4,286,000	繰越商品	
3,600,000	備品	
	買掛金	3,580,000
	仮受消費税	4,160,000
	貸倒引当金	3,000
	借入金	4,000,000
	備品減価償却累計額	240,000
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	3,800,000
	売上	52,000,000
27,500,000	仕入	
5,200,000	支払家賃	
390,000	租税公課	
13,940,000	その他の費用	
71,783,000		71,783,000

(2) 決算整理事項等

- 現金の手許有高は¥765,400である。なお、帳簿残高との差異の原因は不明であるため、適切に処理する。
- 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
- 期末商品棚卸高は¥4,522,000である。
- 備品について、定額法(耐用年数10年、残存価額ゼロ)により減価償却を行う。
- 購入時に費用処理した収入印紙の未使用高が¥50,000あるため、貯蔵品へ振り替える。
- 消費税の処理(税抜方式)を行う。
- (1)の支払家賃の残高は13か月分であるため、1か月分を前払い計上する。
- 借入金はX7年10月1日に期間1年、利率年4%、利息は元本返済時に支払う条件で借り入れたものである。当期末までの利息を月割により未払い計上する。
- 法人税等¥1,600,000および未払法人税等¥1,600,000を計上する。

問1 答案用紙の決算整理後残高試算表を完成しなさい。

問2 当期純利益または当期純損失の金額を答えなさい。なお、当期純損失の場合は金額の頭に△を付すこと。

答案用紙

第1問

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(A)

第5問

問1 決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
	現金	
5,847,000	普通預金	
7,570,000	売掛金	
	繰越商品	
	貯蔵品	
	() 家賃	
3,600,000	備品	
	買掛金	3,580,000
	() 消費税	
	() 利息	
	未払法人税等	
	貸倒引当金	
	借入金	4,000,000
	備品減価償却累計額	
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	
	売上	52,000,000
	仕入	
	支払家賃	
	租税公課	
	減価償却費	
	貸倒引当金繰入	
	支払利息	
	雑()	
	法人税等	
13,940,000	その他の費用	

問2 (¥)

解答

第1問

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	支払家賃	200,000	普通預金	600,000
	差入保証金	400,000		
2	旅費交通費	18,500	未払金	18,500
3	クレジット売掛金	285,000	売上	300,000
	支払手数料	15,000		
4	通信費	22,000	現金過不足	18,000
	雑損	1,000	受取手数料	5,000
5	仮払法人税等	1,250,000	現金	1,250,000

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(A)
2,410,000	1,500,000	656,250	585,000	減価償却費

第3問

合計残高試算表

X1年5月31日

借方		勘定科目	貸方	
残高	合計		合計	残高
773,000	3,500,000	現金	2,727,000	
3,082,000	5,200,000	当座預金日商銀行	2,118,000	
468,000	2,090,000	当座預金大門銀行	1,622,000	
660,000	3,270,000	売掛金	2,610,000	
200,000	1,100,000	電子記録債権	900,000	
520,000	520,000	繰越商品		
800,000	800,000	備品		
	1,880,000	買掛金	2,020,000	140,000
	680,000	電子記録債務	813,000	133,000
	13,000	所得税預り金	25,000	12,000
		借入金	2,000,000	2,000,000
		資本金	3,000,000	3,000,000
		繰越利益剰余金	500,000	500,000
	20,000	売上	6,770,000	6,750,000
4,310,000	4,320,000	仕入	10,000	
1,200,000	1,200,000	給料		
162,000	162,000	水道光熱費		
260,000	260,000	支払家賃		
100,000	100,000	支払利息		
12,535,000	25,115,000		25,115,000	12,535,000

第4問

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	売掛金	625,000	売上金	600,000
			現金	25,000
②	仕入	625,000	買掛金	625,000
③	普通預金	625,000	売掛金	625,000
④	買掛金	625,000	当座預金	625,200
	支払手数料	200		

第5問

問1 決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
765,400	現金	
5,847,000	普通預金	
7,570,000	売掛金	
4,522,000	繰越商品	
50,000	貯蔵品	
400,000	(前払)家賃	
3,600,000	備品	
	買掛金	3,580,000
	(未払)消費税	1,472,800
	(未払)利息	80,000
	未払法人税等	1,600,000
	貸倒引当金	151,400
	借入金	4,000,000
	備品減価償却累計額	600,000
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	3,800,000
	売上	52,000,000
27,264,000	仕入	
4,800,000	支払家賃	
340,000	租税公課	
360,000	減価償却費	
148,400	貸倒引当金繰入	
80,000	支払利息	
	雑(益)	2,600
1,600,000	法人税等	
13,940,000	その他の費用	
71,286,800		71,286,800

問2 (¥ 3,470,200)